

令和4年度 藤枝西高等学校第1回学校運営協議会（議事録）

1 日 時 令和4年5月30日（月）午後2時から4時まで

2 場 所 藤枝西高等学校 会議室

3 参加者

会 長	鈴木 尚夫	元公立中学校長【学校運営に資する活動者】
副会長	高橋 等	静岡産業大学教授【学識経験者】
委 員	櫻井 勁三	西益津地区第一自治会長【地域住民】
委 員	田形 聡子	田形内科医院 臨床心理士【学校運営に資する活動者】
委 員	寺田万理杏	フィットネス インストラクター【その他】
委 員	長島 健一	令和4年度PTA副会長【保護者】

校長（國川）、副校長（野澤）、教頭（山本剛）、事務長（岩本）、教務主任（掛下）、生徒指導主事（櫻井）、進路指導主事（赤池）総務主任（増田）、図書課長（永田）
記録：総務課員（望月）

4 内 容 （司会）野澤副校長

- (1) 校長挨拶 西高の更なる発展を期す令和4年度がスタートした。キャッチフレーズ「元気と笑顔があふれる西高！」を合言葉に、コミュニティ・スクール3事業やグローバルプログラム等を推進していきたい。令和4年度入学生から一人一台Chromebook導入を開始し、ICT教育充実を図っていく。
- (2) 任命状の交付
- (3) 会長及び副会長の選出
会長に鈴木委員、副会長に高橋委員が選出される。
- (4) 自己紹介
- (5) 学校概要説明
 - ア 教務課 生徒の学習に対する主体性を養い、確かな学力を育成する。今年度入学生から各教科の協力のもと、新課程における観点別評価を実施する。
 - イ 進路課 学年と連携し、組織的取組を通して生徒一人一人の進路希望を実現させる。3年間を見通した組織的進路指導体制の更なる構築を目指す。
 - ウ 生徒課 高い規範意識を持ち諸活動に主体的に取り組むことを通して、調和の取れた生徒を育てる。教育相談・教育支援にも力を注ぎたい。
 - エ 総務課 学校と保護者、同窓会、地域との信頼関係を構築する。コミュニティ・スクール事業では、保護者との連携を、より図っていきたい。
 - オ 図書課 芸術文化に触れる活動を通じ、生徒の豊かな感性を育む。本格実施2年目となる朝読書の充実を目指したい。職員研修にも注力したい。
- (6) 校内見学…生徒授業風景等
- (7) 令和4年度グランドデザイン及び学校経営計画について
- (8) 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について
- (9) コミュニティ・スクール年間計画について
別紙 「3の年間計画」参照

(10) 協議・意見交換 (進行) 鈴木会長

- <鈴木会長> ○「元気と笑顔」という具体的なキャッチフレーズに好感が持てる。校長先生のお話を聞いて、熱意を感じた。
- PTAの中に「コミュニティ・スクール委員会」を新たに置いたことで、力強い推進力になると思う。
- マスクをしていると表情が伝わりにくい。感染拡大防止のため、大きな声を出さないよう言われている中、挨拶運動をどう推進していくかが課題となる。中学校長時代、「あいさつ、あいづち、あこがれ、ありがとう」を中学生に示してきた。中でも「あこがれ」は、多感な時期に生徒の先輩や先生方へのあこがれの念を持たせることが、抱く生徒の成長に繋がる。また、あこがれられるためにも、先生方に國川校長が学校経営計画の中で述べられている、「教員自ら範を示す」ことを求めることは、とても良いことである。
- <高橋副会長> ○グランドデザインは校長先生のキャラクターが出ていて、とても良い。挨拶については、難しいところもある。先生以外の人に対してどう対処すればいいのか、機会が少ないため気付けない部分もあるのではないかと。運動部の生徒などを中心に挨拶していく雰囲気ができるとうまい。ただ、恥ずかしいと感じる青年心理については、先生方も理解を深める必要がある。
- <櫻井委員> ○地域で行ったアンケートでも、小学生などは学年が上がるにつれ挨拶する子が少なくなる傾向が出ている。人と人との繋がりを持たせるため、地域でも挨拶運動を行う方向でいる。
- <田形委員> ○来校者の来る時間によって「こんにちは」なのか、「さようなら」なのか生徒が迷ってしまう場合もあると思うが、失敗を恐れずに行動できるようにしてほしいと思う。
- <寺田委員> ○ZUMBAでは、生徒たちはみんな、すぐに私のところに挨拶をしてくれる。ただ一人で挨拶をするというのは、緊張するものだと思う。
- <長島委員> ○まだ5月であり、学校生活に慣れていない時期のため、挨拶が少なかつただけかもしれない。或いは家庭において、挨拶の習慣ができていないのかもしれない。

◎基本方針「目指す学校像」については、委員全員が承認する。

1 基本方針「目指す学校像」

(1) 教育目標

校訓『自律 敬愛』のもと、調和のとれた人格の完成を目指し、地域や国際社会に貢献できるグローバルな人材を育成する。

- ① 自主・自律の精神と主体性を養い、自らのキャリアをデザインし未来を切り拓く学力と豊かな感性を持った生徒の育成
- ② 他者への敬愛の気持ちを持ち、地域や国際社会の中で自己の能力を発揮し貢献することができる生徒の育成

(2) 目標具現化の柱（6項目）

2 テーマ

「学校と地域、保護者の協働がキャリア教育の架け橋に！」

【協働～双方向による支援・貢献】

～地域、保護者の力を、いかに本校教育に生かしていくことができるかが重要～

3 年間計画

月	学校運営協議会【熟議】	コミュニティ・スクール事業【協働】
4		
5	第1回学校運営協議会 ○基本方針「目指す学校像」の承認 ○テーマ及び年間計画の検討	日知塾（学習ボランティア）＜10日、24日＞ ZUMBA＜26日＞ 花いっぱいプロジェクト＜2回＞
6		日知塾（学習ボランティア）＜14日、28日＞ ZUMBA＜16日＞ 花いっぱいプロジェクト＜3回＞
7		日知塾（学習ボランティア）＜12日、19日＞ 花いっぱいプロジェクト＜6回＞
8		花づくりプロジェクト＜10回＞
9	第2回学校運営協議会 ○学校運営の進捗状況 ○学校運営の課題整理	グローバルプログラム（予定） 日知塾（学習ボランティア）＜13日、27日＞ ZUMBA＜22日＞ 花いっぱいプロジェクト＜2回＞
10		グローバルプログラム（予定） 日知塾（学習ボランティア）＜4日、18日＞ ZUMBA＜20日＞ 花いっぱいプロジェクト＜3回＞
11	第3回学校運営協議会 ○学校運営に対する地域支援 ○学校運営と職員の任用	グローバルプログラム（予定） 日知塾（学習ボランティア）＜8日、22日＞ ZUMBA＜10日＞ 花いっぱいプロジェクト＜3回＞

12		日知塾 (学習ボランティア) < 6 日、20 日 > ZUMBA<15 日 > 花いっぱいプロジェクト< 2 回 >
1		日知塾 (学習ボランティア) <10 日、24 日 > 花いっぱいプロジェクト< 3 回 >
2	第 4 回学校運営協議会 ○本年度の取組の評価と改善策 ○次年度基本方針(案)の協議	花いっぱいプロジェクト< 2 回 >
3		